

萌黄 (もえぎ) 通信



毎日寒いですね。立春が過ぎてから、特に寒いです。

石材の洗浄時には、ホースを使うため、水抜きを完全にしておかないと、朝、使用するとき大変困ったことになるので、最

近は片付けに時間を長く割くようにしている堀内貢次です。

この時期は、中央道の所々で、凍結防止剤（塩化カルシウム）が撒いてあるので、営業して帰ってくると車が汚れてしまい、夜に車を洗ったのですが、翌日早朝、車のドアが凍ってしまい乗り込むまでに15分かかったことがあります。寒い日の夜には洗車をしないほうがいいですね。

「山梨県立美術館で、3-Dの騙し絵発見！！」



先日、県立美術館近くで仕事をしたときに、美術館の公園内に、3-Dの絵を発見しました。レンズを通した時、崖のふちに人が立つと一層、緊迫感が出るみたいです。

「玄関エントランスの御影石からエフロの発生」

今月の石材メンテナンスは、御影石のエントランス床で、目地と石の表層からエフロが発生してしまっている現場からです。

エントランス敷石の周辺は花壇や芝生があるので、御影石の裏面に水が回りやすい環境にあるようです。グリーン系の御影石の中では、比較的吸水率が高いせいか、御影石に浸透した水分の膨張と収縮の繰り返しで所々に亀裂が入り、目地だけでなく、石からもエフロが発生しています。

対処方法は、エフロが発生しているので、石材用の希釈した酸性洗剤でエフロを除去し、石の表層は、経年変化で摩耗しているため、ダイヤモンドで研磨して再生します。

洗浄と研磨後の水分をバキュームし、よく乾燥させます。この日は晴天でしたので、2時間くらいの自然乾燥を行い、

そのあと、簡易バーナーで更に乾燥させ、浸透性のコート剤を塗布します。更に、1時間後に、全体をしっとりした感じを出すためにウェットコートを塗布して、良く拭き上げ、更にバフ仕上げして完了しました。



1. 目地と石からエフロ発生



2. 洗浄とダイヤモンド研磨



3. 浸透性コート+ウェットコート



4. 施工完了後

「大谷石ベランダ笠石はここまでカビが出ます」

ある個人邸のベランダの笠石が大谷石なのですが、吸水性が高いため、カビが発生しています。高圧洗浄+塩素系洗剤で除去後、最後にコート剤を塗布してカビを抑えます



（編集後記）最近、地元の山梨でも少しずつ仕事が増えてきて、昔からお付き合いのある職人さんとも再会できるので楽しいです。段々と景気がよくなる気配を感じます。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp